

「令和6年度 総社市市民提案型事業」 中間報告会

忘れない 平成30年7月豪雨

～ 災害支援の取り組み

を通して高める防災意識 ～



公益財団法人みんなでつくる財団おかやま

目 次

1. 団体紹介

2. 事業概要

3. 事業内容・スケジュール

1. 団体紹介

1. 団体紹介

■主な活動内容

「関わりやすい環境をつくり、資源循環を促す」

関わるハードルを下げる

組織・個人の地力をつける

交流会

チャリティ
イベント

B. 寄付文化創造事業

講演
セミナー

ノウハウ
移転

C. 情報発信 / 人材育成事業

／ みんなつく 3 つの仕組み ／

A. 資源循環事業

市民 / 企業



寄付

情報



地域版クラウド
ファンディング



基金設立事業



円卓会議

助成

情報



NPO

調査
研究

Share
会議

D. 調査研究事業

「地域課題を発見・発信する」

1. 団体紹介

- （活動例）環境整備（団体育成）
被災地支援・防災活動等を対象とした助成事業

「BRIDGE SETOUCHI 基金」

：災害支援や防災の助成事業に役立ててもらうことで、購入者にも社会的関心を持ってもらうきっかけをつくることを目的とした基金。

SAIGAI SHIEN KIKIN みんつく 災害支援基金



「みんつく 災害支援基金」

：日本国内（岡山県内を基本）で災害や災害相当の緊急事象がおきた際に、NPO活動を支援する災害支援基金。

「にいみ復興基金」

：令和元年9月豪雨災害により被害を受けた新見の復興活動・地域活性化活動に対する支援基金。



NIIMI FUKKO KIKIN

にいみ復興基金



1. 団体紹介

■（活動例）ももたろう基金

岡山県内における平成30年7月豪雨「被災地支援寄付基金」を設置

（2021年12月15日～2022年2月15日に第14次募集受付終了）



1年間でもっとも共感を
あつめた取組みとして
選んでいただきました！



FRJ2019
第10回
「日本ファンドレイジング大賞」
を受賞しました！



2. 事業概要

2. 事業概要

②目指すべき社会・状態【事業の目的】

- ・ 平成30年7月豪雨の**経験・ノウハウが共有され、**
非常時に**様々な資源を活用できる体制・仕組みづくり、**
（すぐに関係機関（官民）と連携をとれる**支援体制構築**など）
- ・ 全国各地の復旧・復興活動や防災対策に活かされている状態

④事業実施により 期待される成果

- ・ 災害時に**必要な支援や機能について、ノ
ウハウが記録される**
- ・ 関係者とのつながりが拡充される

⑤事業実施後のビジョン

- ・ 関係団体との連携強化、
非常時に対応できる体制整備
- ・ 市との連携の可能性検討
- ・ 他地域へのノウハウ移転

③今回の実施事業

『平成30年7月豪雨災害における
支援活動 報告書の作成』

①事業の実施背景、地域課題【現状の認識と課題】

- ・ 被災経験を活かした備え（非常時の支援体制整備）が急務であるが、
当時の民間団体による**支援ノウハウが残せていない。**
- ・ 発災から5年以上が経過し、風化や防災意識の低下が懸念される。

3. 事業内容・ スケジュール

3. 事業内容・スケジュール

■主な取り組み内容

【記録に残す】

- ① 平成30年7月豪雨における
災害支援活動報告書の作成

進行中

【啓発活動】

- ② 防災イベントの企画
- ③ シンポジウムの開催

実施済

未実施

② 防災イベント

「令和6年能登半島地震」から学ぶ災害支援

日 時：2024年6月2日(日)
10:00～11:30

場 所：FLCB + オンライン

内 容：

- ・ももたろう基金の取り組み紹介
- ・講師による講演（各25分程度）
- ・質疑応答、意見交換

参加者：17名



② 防災イベント

【講師①】 災害支援ネットワークおかやま 詩叶 純子氏

平成30年7月豪雨での支援活動を
契機に立ち上がった民間による
災害支援のネットワーク。



NPO・NGO、企業、専門家など様々な組織が立場を超えて、被災者支援に取り組むための連携・協働の取組や支援に取り組む民間組織をサポートすることで、被災時に誰ひとり取り残さない支援の実現を目指している。

令和6年能登半島地震においても現地で支援活動に取り組んでいる。

団体HP ▶ <https://saigainetokayama.org/>

② 防災イベント

【講師②】 公益財団法人 ほくりくみらい基金

須田 麻佑子氏、永井三岐子氏（理事長）

「未来はつくれる！」

と誰もが思える社会の実現を目指し、

石川県内で活動を行うコミュニティ財団。

2023年4月に設立、同年12月に公益認定。



令和6年能登半島地震発災後、「令和6年能登半島地震 災害支援基金」を立ち上げ、寄付集めと現地の活動団体への助成を行う。

これまでに集まった寄付金は52,943,295円（2024年5月15日9時時点）。緊急助成プログラムを第4次まで公募し、計59団体・総額1,018万円の助成を実施している。〔6月2日イベント時点〕

団体HP ▶ <https://hokuriku-mf.jp/>

3. 事業内容・スケジュール

■報告書作成

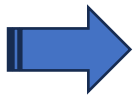
目 的

「ももたろう基金」の
取り組みを中心に、
**運営ノウハウや
それぞれの民間団体の
支援活動の記録を残す。**

内 容

- ・「ももたろう基金」の
寄付・助成実績
- ・各団体の活動概要紹介
- ・災害支援活動 運営のポイント
- ・被災された方や支援活動団体の声
などを集め、掲載予定。

- ・ NPO団体や自治体、市民、その他関係者 等へ配布
- ・ 今後の事業相談やノウハウ移転に活用



■シンポジウムでお披露目 & 周知・啓発

3. 事業内容・スケジュール

■スケジュール

2024年 4月～1月 調査・報告書作成
防災イベント開催



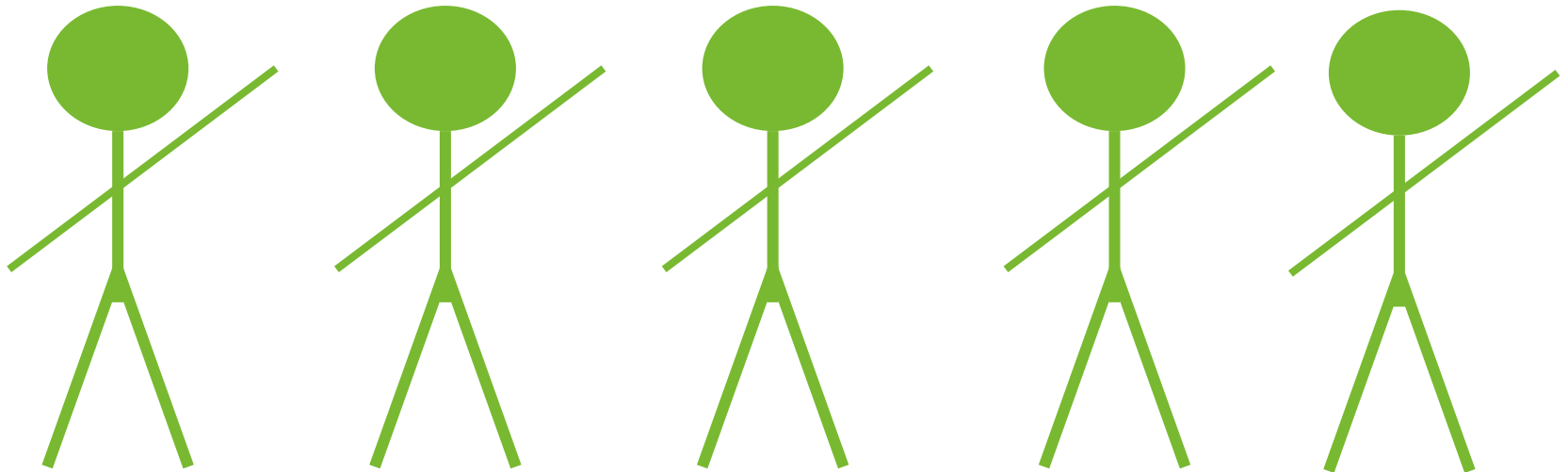
(10月 中間報告)

2025年 2月～ 3月 シンポジウム開催、事業報告書作成

次年度

事業報告

ご清聴
ありがとうございました！



（ 参 考 ）

BRIDGE SETOUCHI基金

みんつく助成プログラム紹介

●冠基金〈テーマ：防災・被災地支援〉 「BRIDGE SETOUCHI基金」

今年度より
四半期毎に
公募開始

助成分野	被災地支援・防災活動
助成額	1件あたり5万円まで
設置者	萩原工業株式会社
設置者の意向	持続可能な社会の実現のため、シート製造時の端材を再利用し、寄付つき商品を製作し、その売り上げで基金を設置しました。災害支援や防災の助成事業に役立ててもらうことで、購入者にも社会的関心を持ってもらうきっかけとなったらと思っています。

BRIDGE SETOUCHI基金

BRIDGE SETOUCHI基金 × 倉敷成人病健診センター

「倉敷限定!女性ドック」（倉敷市在住の普段、健診を受ける機会が少ない主婦の方々を対象、実施期間：2023年6月1日～2024年3月28日）において、受診特典として萩原工業株式会社と共同製作した「KMC オリジナルBRIDGE SETOUCHI ブルーシードバッグ」の配布を実施。

計441,800円（200円×受信者数2,209名）を防災・減災・災害復興活動（「BRIDGE SETOUCHI 基金」と「（一社）BRIDGE KUMAMOTO」）へ寄付いただきました。



BRIDGE SETOUCHI基金

BRIDGE SETOUCHI基金 × 岡山シーガルズ

萩原工業株式会社様の新笠岡工場が2024年9月に正式稼働を開始することを機として、共に笠岡市と連携協定を結ぶ岡山シーガルズ様と協働で社会貢献『Blue 2 Action for SDGs』を実施。

コラボレーション商品として、萩原工業にて実績がある『BRIDGE』賛同商品を企画・製作し、販売スタート！

2WAYシートバッグ販売中！
(岡山シーガルズHPより購入可能)

売上の一部が【BRIDGE SETOUCHI 基金】、
【BRIDGE KUMAMOTO】に分配して贈られ、
防災・減災・災害復興の基金として役立てられます。



販売価格: 4,800円(税込)